

速報第2739号 H28.12.13発行 総務課報	道議会における質疑・質問及び答弁要旨	28年・4定 予算特別委員会 12月12日	質 問 者	笹田 浩 委員 民進党・道民連合 (渡島地域)
質 疑 ・ 質 問	答 弁			担 当 課
<p>一 生涯学習の推進について 道内各地では、学校教育活動はもとより、公民館や図書館、体育館などにおける社会教育事業や、文化・スポーツなどの住民主体のサークル活動などをとおして、活発に生涯学習が行われており、多様な学習機会の提供の場の充実など、地域において生涯学習を推進していくことは、住民の生活に欠かすことのできないものになっていると考えております。今後の本道の生涯学習の推進に関わっていくつか伺ってまいります。</p> <p>(一) 道民の生涯学習の取組状況について はじめに、道民の生涯学習の取組状況について、ここ数年の推移もあわせてお伺いいたします。</p> <p>(二) 学習内容について 非常に高い率で取り組んでいるという結果でありますけれども、次に、生涯学習に取り組む道民は、どのような内容を学んでいるのかお聞きいたします。</p> <p>(三) 地域づくりに向けた生涯学習の状況について 主に趣味やサークル活動、そういったものが中心だという結果が出ているようでありますけれども、趣味やサークル活動などの生涯学習は、新たな知識や技術を得ながら、仲間との交流が広がるなど、独居世帯や単身世帯が多くなっている現在の生きがいに繋がっているものについては非常に重要だと評価もしているところであります。しかし、一方、人口減少が進んで、地域に活力が求められている、この道内の昨今、地域コミュニティや地域社会に対する教育というものの充実などが実は住民の学習、これが地域をよりよく変えるという観点も重要だと私は考えています。こうした道民の地域づくりに向けた生涯学習の状況はどのようになっているのかお聞きいたします。</p> <p>(四) 市町村における生涯学習推進上の課題について ただいま局長から、心強いというか、大変重要であると、学習の成果が地域づくりに結びつくこと認識しているということで、そのとおりでありますけれども、これまで、学習する主体である道民の状況を伺ってきたわけでありまして、学習機会の提供やそのための環境整備など、生涯学習の推進を担う主体についても質問をしていきたいと思っております。生涯学習の推進主体は、各種団体や民間など多様でありますけれども、本道の各地域においては、住民に最も身近な市町村が大きな役割を果たしていると考えているところであります。市町村の職員は、少ない人員と限られた予算の中で、生涯学習の推進に取り組んでいるわけでありまして、市町村ではどのような課題を抱えているのかお伺いをいたします。</p>	<p>(生涯学習課長) 生涯学習の取組状況についてでございますが、道教委では、住民の生涯学習や今日的な課題に関する意識などについて、全道的な傾向や経年変化を把握、分析することにより、今後の道や市町村の生涯学習の振興に寄与することを目的といたしまして、毎年、市町村教育委員会の協力のもと、「生涯学習に関する住民の意識調査」を実施しております。本調査におきまして、「この1年くらいの間に生涯学習に取り組んだ」と回答した道民は、平成23年度は66%、平成24年度は68%、平成25年度から27年度は67%となっております。</p> <p>(生涯学習課長) 学習内容についてでございますが、平成27年度の意識調査では、取り組んだ生涯学習の内容といたしましては、「音楽、美術、華道、舞踊、書道など」趣味的なものが61%、「健康法、医学、ジョギング、水泳など」健康・スポーツが53%、「文化、歴史、科学、語学など」教養的なものが34%となっております。</p> <p>(生涯学習推進局長) 地域づくりに向けた生涯学習の状況についてでございますが、先の意識調査におきまして、学習活動を通じて身につけた知識・技術や経験の生かし方についての設問では、「まちづくりやボランティア活動などに生かしている」が41%、「子どもたちを育む活動に生かしている」が39%、「他の人の学習やスポーツ活動、文化活動などの指導に生かしている」が33%となっているなど、これらの取組が地域づくりに繋がっているものと考えております。道教委といたしましては、生涯学習が自己の人生を楽しく豊かにするものであるとともに、このように学習の成果を人づくりや地域づくりにつなげていくことが大変重要であると考えているところでございます。</p> <p>(生涯学習課長) 市町村における課題についてでございますが、道教委では、毎年度、全市町村教育委員会を対象として、生涯学習の推進体制や学習機会の提供状況などを内容といたします「生涯学習推進体制の整備状況調査」を実施しており、本調査におきまして、「生涯学習推進上の課題について」の設問で、極めて重要な課題としてあげられたものは、「学校・家庭・地域の連携の促進」が35%、「生涯学習指導者やリーダー的人材の養成」が34%、「住民の生涯学習に対する意識やニーズの把握」が32%となっております。</p>	<p>生涯学習課</p> <p>生涯学習課</p> <p>生涯学習課</p> <p>生涯学習課</p>		

質 疑 ・ 質 問	答 弁	担 当 課
<p>(五) 今後の取組について</p> <p>答弁の中に「リーダー的人材の養成」が課題の一つにと、あがっているようでありすけれども、各種のサークル団体からも、活動を継続するためのリーダー的な後継者、これが不足していると心配の声をよく聞くわけでありす。</p> <p>これまでいろいろ聞いてまいりましたけれども、さて、道教委として、今後の取組についてお聞きしますが、これまでも道教委では、道立生涯学習推進センターや道民カレッジを中心に、本道の生涯学習の推進に取り組んできたものと承知しているわけでありす。</p> <p>市町村の抱える課題、これらに対する支援、さらには地域をよりよく変えていく生涯学習、これを推進していく必要があるというような、今までの中身で言えばそうだとことだと思ひすけれども、今後、どのような取組を進めていこうとしているのか、教育長の決意をお伺ひいたします。</p> <p>(意見)</p> <p>道内は一貫して人口減少に悩まされている状況が続いているわけでありすけれども、この厳しい時代を、行政だけではなかなかやりきれないということになるわけでありす。</p> <p>ボランティアだったり、地域づくりのリーダーの方々、その人達が非常に重要な役割を今後占めていくと思ひしております。</p> <p>人づくりのためにも、生涯学習というところしつかりと着目をして、ただいま教育長から言われたとおり、一層の推進に努めていただきますよう、お願い申し上げます。</p>	<p>(教育長)</p> <p>今後の取組についてでございますが、道教委では、これまで、生涯学習の推進に当たりまして、調査・研究や指導者の養成、情報提供や学習相談などを通じて、市町村への支援に努めてきたところでございす。</p> <p>また、道民カレッジ事業におきましても、「ほっかいどう学」など、地域への理解や地域づくりにつながる講座を実施してきたところでございす。</p> <p>こうした中、先の調査で、生涯学習での学びを地域づくりにどのようにつなげていくのかということや、市町村における指導者の養成、さらには学校・家庭・地域の連携の在り方等について、課題が見られましたことから、道教委といたしましては、今後、地域が連携したまちづくりの実践事例に関する情報の提供や、地域におけるリーダー的人材の育成に関する研修会の開催等により、市町村に対する支援の充実を図るとともに、学びが地域づくりへとつながるよう、道民カレッジ事業において、大学やNPO等と連携したボランティアなど実践的な活動に関する講座を拡充するなど、生涯学習の一層の推進に取り組んでまいりす考えでございす。</p>	<p>生涯学習課</p>